



株式会社ジェック経営コンサルタント  
代表取締役社長 山瀬 孝

昭和38年生まれ。富山大学経済学部卒業後、産業機械メーカー営業、税理士事務所を経て27歳の時に(株)ジェック経営コンサルタント創業。中部6県にて個人で300社以上、ジェック経営コンサルタントで約1200社のコンサルティング経験をもつ。



採択案件ではカンボジアの日系企業、スタートカンボジアの協力を得て、同社の現地社員を対象に社会人基礎研修会を開催。掃除研修なども行った。



ジェック経営コンサルタントではCJCCとの連携により、約20の企業に独自の「悩み解決へのプログラム」を展開。カンボジアの中小企業が抱える経営課題を明確にし、解決策を提案している。写真は昨年7月の研修後の記念写真。

日本の技術、世界を変える

ODAを活用した中小企業海外展開支援

# 人材教育を中心にした日本式経営を カンボジアの中小企業に伝授

(株)ジェック経営コンサルタント(富山市)が手がけるのは、中小企業の人材育成や経営課題の解決など、経営コンサルタント全般。同社がこれまでに培ったノウハウを生かし、

カンボジアにおける「中小企業振興及び産業人材育成事業のための基礎調査」を、  
2016年5月から2017年4月にかけて、JICAの中小企業海外展開支援事業で実施した。

## カンボジアの中小企業は どんな課題を抱えていますか？

弊社では1991年の創業以来、中部地方を中心に企業の経営サポートをさせていただき、現在までに中部6県で約1200社のお客様とお付き合いしてきました。この経験を生かし、カンボジアでの産業人材育成と、中小企業振興にかかるサービスのニーズや有効性を確認する調査を行うと提案したのが、今回の案件です。

カンボジアは世界有数の被支援国の一つです。従来の支援は、1990年代まで続いた内戦のあとを受け、社会インフラの整備や貧困問題の解決などが中心でした。それからおよそ20年を経て、ようやく経済発展のための中小企業の育成が課題として認識されるようになっていきます。

地道に訪問し、経営者に必要性を説くなどしています。地道な活動ですが、日本で創業した当初にも通った道ですし、小規模店舗などへの営業活動には楽しみながら取り組んでいます。弊社では現地社員も採用していますが、こうした活動を通じて、カンボジア人スタッフのスキル向上にもつながっていきたく考えています。

## 日本人材開発センターとも 協力されたそうです

弊社とJICAが支援するカンボジア日本人材開発センター(CJCC)とのお付き合いは2014年にさかのぼります。この年、JICA北陸が主催するボランティア視察団に参加し、カンボジアのCJCCを訪問したのですが、その場で、産業人材育成の一貫としてマネジメント教育や技術教育などのカリキュラムが提供されている様子を拝見しました。このとき初めて「カンボジアでは中小企業の育成が大きな課題になっている」と知った私は、弊社が培ってきた中小企業支援のサービスメニューを提供できないかと考えました。

その後もCJCCには2度訪問。具体的な課題をうかがうなかで、CJCCが抱える課題を解決することこそ、カンボジアの中小企業育成に資する持続的なサービス提供の近道ではないかと思うようになりました。そして、ともすれば利益追求に走りがちな欧米の経営とは異なる日本の経営——人を大切に

その一方、現地の経営者に聞くと「資金力が経営課題」という声が圧倒的。しかし企業の成長には、有為な後継者の育成、良好なチームワークづくり、作業環境や作業手順の効率化などが不可欠です。これらの改善がおろそかになりがちであることが、カンボジアの中小企業の課題だと私は思っています。

## 海外ならではの ご苦労はありますか？

弊社では現在、5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)や挨拶、礼儀などの社会人基礎研修を中心に、カンボジアの企業経営者に対して普及啓発を行っています。また、JICAの紹介により、政府機関のMIH(工業・手工芸省)と連

し、人の教育に注力する経営方針——をカンボジアで普及したいと思うようになり、CJCCとの連携を視野に中小企業海外展開支援事業に「基礎調査」として応募することにしたのです。

採択後もCJCCとの協力は継続中。何しろ、カンボジアの企業事情に精通されているので、とても頼りになります。今回の基礎調査でも、5Sセミナーを共同開催したり、弊社の社会人基礎研修テキストを共同翻訳したりと、ともに事業を進めています。ちなみに、共同翻訳したテキストは今後、CJCCの研修でも導入予定と聞いています。

昨年9月には、カンボジアの農業分野の経営者を対象にCJCCが主催した日本での「農業ビジネス研修」で、弊社をご見学いただきました。今後もCJCCと協力しながら、カンボジアの中小企業支援を継続していく考えです。  
(※CJCCの詳細は下記コラムをご参照ください)



2016年9月にはCJCC率いる視察団が、富山県のジェック経営コンサルタントを訪問。5Sや挨拶、礼儀など、日本式の企業研修を体感してもらった。

北陸地域  
(富山県・石川県・福井県)の  
「中小企業海外展開支援」に  
関するお問合せ

独立行政法人 国際協力機構  
北陸支部 (JICA 北陸)

所在地

石川県金沢市本町1-5-2  
リファール(オフィス棟)4F

TEL

076-233-5931

URL

https://www.jica.go.jp/hokuriku/

## 日本人材開発センターのご案内

日本人材開発センター(通称:日本センター)は、当初、市場経済移行国における「顔の見える援助」として、また、ビジネス人材育成と日本との人脈形成の拠点として構想され、2000年より順次開設されてきました。現在では、東南アジアのカンボジア、ベトナム、ラオス及びミャンマー、東・中央アジアのモンゴル、ウズベキスタン、キルギス、カザフスタン及びウクライナに設置されています。日本型経営、生産管理(5S、改善)など実践的なビジネス研修等を通じたビジネス人材育成に加え、人材

お問合せ

JICA 産業開発・公共政策部 民間セクターグループ

TEL 03-5226-6698

FAX 03-5226-6329

E-mail japancenter@jica.go.jp

URL https://www.jica.go.jp/japancenter/index.html

携し、食品会社を中心に5Sセミナーを2回開催しました。セミナー参加企業には、その後のフォローアップも行っています。このほか日系の不動産企業の協力を得て、同社の現地社員を対象にした、社会人基礎研修会を開催しています。これらの事業を通じて難しいと感じるものが、有償サービスとしての価値の伝え方です。弊社では一連のコンサルティングを有償で提供しています。しかしカンボジアでは欧米のボランティア団体などが、5Sをはじめとする企業研修プログラムを無償提供しています。このため、有償で企業コンサルティングやセミナーを受ける必要性を感じられない方も多く、無償サービスにはない付加価値の見せ方に苦慮しています。この課題に対しては、過去開催したセミナーなどで知り合った顧客想定企業を



今回の支援地域

カンボジア